

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年1月16日(2020.1.16)

【公開番号】特開2019-165840(P2019-165840A)

【公開日】令和1年10月3日(2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報2019-040

【出願番号】特願2018-54209(P2018-54209)

【国際特許分類】

A 6 1 B 34/35 (2016.01)

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 B 8/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B	34/35	
A 6 1 B	17/00	7 0 0
A 6 1 B	8/14	

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月28日(2019.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

6自由度を有するロボットアーム(2)と、

前記ロボットアームの先端に設けられ、収束超音波を照射する照射部(31)、および前記照射部の中心から前記収束超音波の照射方向に向けて突設され、前記収束超音波とは異なる診断用超音波を送受信する診断プローブ(32)を有する治療ヘッド(3)と、

外部からの入力に応じて前記ロボットアームの動作を制御することで前記治療ヘッドの位置および姿勢を変化させるように構成された制御部(5)と、

前記照射部に対する前記診断プローブの突出量を変化させるように構成されたプローブ駆動部(34)と、

前記治療ヘッドに加わる力の向き及び大きさを検出する力覚センサ(23)と、

を備え、

前記制御部は、前記診断プローブの先端位置を保持したまま、前記照射部と前記診断プローブの先端との相対位置が変化するように、前記プローブ駆動部と前記ロボットアームとを同期させて駆動する同期制御(5:S240~S260, S400)を少なくとも実行するように構成され、

さらに前記制御部は、前記ロボットアームの動作に伴って、前記力覚センサにより検出される治療対象に対する押圧力が予め設定された圧力閾値以上である場合に、前記押圧力が前記圧力閾値より小さくなるように前記同期制御を実行する

治療装置。

【請求項2】

請求項1に記載の治療装置であって、

前記収束超音波の焦点の調整を指示する調整指示が少なくとも入力されるように構成された指示入力部(6, 24)を更に備え、

前記制御部は、前記指示入力部から前記調整指示の入力があり、且つ、前記治療ヘッドの位置を前記診断プローブの突出方向に沿って変化させる指示の入力があった場合に、前

記同期制御を実行する
治療装置。